

「土木鋼構造物の点検・診断・対策技術」2017年度改訂 正誤表

平成30年4月10日

章	ページ	行, 図表	誤	正
1	3	左下から9行	プラトン	プラ ン トン
2	26	下から1行目	余熱	予熱
2	32	表2.3-7 右上端欄	低効率	抵抗率
3	46	表3.2-4	JIS K 5629 (鉛酸カルシウムさび止めペイント)	削除
3	48	表3.2-6		表に一行、2016年に廃止された塗料として、 「 <u>JIS K 5629 / 2016年 / 鉛酸カルシウムさび止めペイント / 鉛を多量に含む</u> 」 を追加
4	65	左上から4行目	・・非超過確率97.7%の値を, 疲労設計曲線が・・	・・非超過確率97.7%の値 が , 疲労設計曲線 を ・・
5	94	P94 図5.1-3	<p>材齢28日の圧縮強度</p> <p>単位セメント量</p> <p>AE剤を用いないコンクリート</p> <p>AE剤を用いないコンクリートより数%空気量の多いAEコンクリート</p>	<p>材齢28日の圧縮強度</p> <p>単位セメント量</p> <p>AE剤を用いないコンクリート</p> <p>AE剤を用いないコンクリートより数%空気量の多いAEコンクリート</p>
7	148	<ul style="list-style-type: none"> ・7.2.4 タイトル ・図7.2-15 タイトル ・左下から16行, 11行, 8行, 7行, ・右上から4行, 6行, 9行 	防食電位	電位
8	209	左上から27行	・・腐食することになる。	・・腐食することもある。
8	225	左上から3行	部材係数を γ_b	部材係数を γ_b

章	ページ	行, 図表	誤	正
8	233	図8.5-1、写真8.5-4のタイトル	(本州四国連絡橋高速道路…)	(本州四国連絡橋高速道路…)
9	238	9.2.3の文章	そのため、疲労強度等級は、これらの継手を模擬した図9.2-7に示すような小型試験体の疲労試験結果を多数集積し、その下限あるいはそれに相当する非超過確率97.7%の値を用いて設定されている。	そのため、疲労強度等級は、これらの継手を模擬した図9.2-7に示すような 継手 試験体の疲労試験結果を多数集積し、その下限あるいはそれに相当する非超過確率97.7%の値が 疲労設計曲線を上回るように設定されている。
9	255	図9.3-7のタイトル	重大な損傷と見られるき裂	重大な損傷と みなされる き裂
13	357	表13.2-4	…4～5年以内(全般検査で1回見落としを考慮)に… …10年以内(塗装期間)に… …進行は遅く、計算上設計想定寿命程度は満足できると思われるもの。	…4～5年以内に… …10年以内(塗装期間)に… …進行は遅く、 今後10年以上は性能の限界もしくはその部材(継手)の破断に至らないもの。
13	363	図9.3-3	図9.3-3	図 13.3-3
13	372	写真13.4-11		
14	380	左下から11行	水中施工形	水中 硬化 形
15	393	左下から15行目	取水ダムの上部に設置	取水ダムの 上部 に設置
17	284	写真11.3-3のキャプション	RC床版下面の遊離石灰の例	RC床版下面の遊離石灰 析出 例